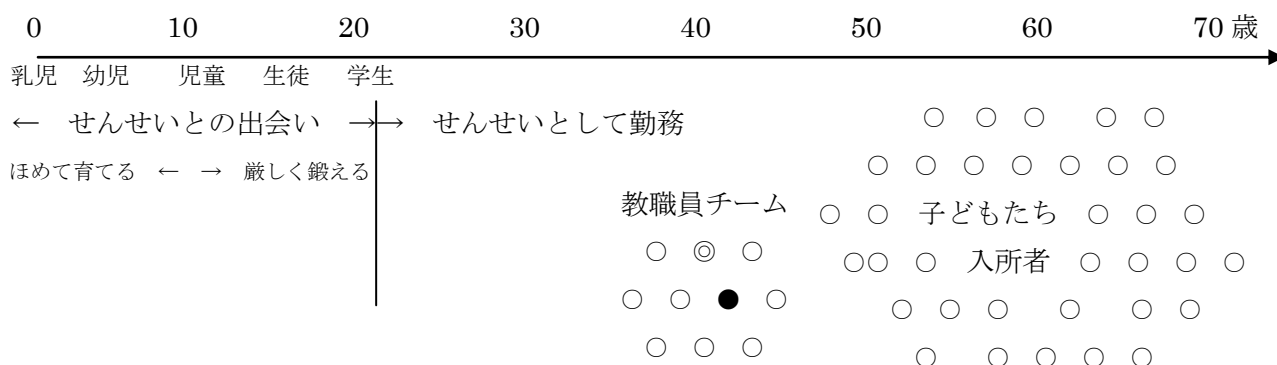




## ○ 保育実習

2年生は幼稚園の教育実習に続いて8月から保育実習に取り組みます。保育園や各種施設など学生によって訪問する場所が違い実施期日も違いますが、学年全体で26日に結団式を行いました。私は校長あいさつをする役目で参加しましたが、このたびは10~15分の時間をいただいて一つの思いを学生たちに伝えてみました。ホワイトボードに書いた図などは大まかに下記のとおりです



話した内容の要点は次のとおりです。

- ・今まではいろいろな先生と出会いながら成長してきました。
- ・二十歳を迎えてあなたは、4月からは先生として一人で生きていきます。
- ・子どもたちや入所者などのケアを担う仕事です。
- ・そのケアは教職員のチームワークによって維持されます。
- ・教職員は上司・先輩・同僚など立場や年齢の違う人々の集まりです。
- ・実習ではそのチームに入って働きます。
- ・個性や立場の違いなどからあなたへの指導助言はさまざまな形で表れます。
- ・ほめて育てようとする人、厳しく指摘する人、見守る人などなどです。
- ・その中でも厳しい人の指導内容を特に大切にしてください。
- ・厳しくできる人はあなたを大切に思い、成長を期待している人です。
- ・子どもたちへの対応について頭がいっぱいかもしれませんが、こんな視点ももちましょ。
- ・体調管理をしっかりして充実した収穫の多い実習にしてください。

人は誰でも他人から嫌われたくはないものです。それにも関わらず叱ってくれる人は貴重です。対象年齢の低いころはほめて育てることが大変大切ですが、社会人として独り立ちする直前には厳しく指導されることが重要だと思います。これはまさに即戦力の育成です。若者が失敗することは当たり前ですが、教えることができるものは伝えておき、就職後に無駄な体力を使わせないようにすることは我々教職員の責務ではないかと考えます。学術的知識量が豊富で優秀な大学生でも就職後に休職してしまうような事例はこれと関連するかもしれません。

最後に、一つだけ学生たちにアドバイスをします。明るく元気のよいあいさつを積極的にしよう！大きな声でというだけの意味ではありません。また、立ち止まって相手の方を向いて。

### 自校自賛

私のあいさつを聴いていた2年生の姿勢と目の輝きはたいへん素晴らしかったです。



決意を述べる代表者